

NAGASAKI

看護連盟だより



佐世保天神公園

次期参議院選 候補予定者内定！

目次

総会プログラム..... 2	石田まさひろ前日本看護連盟幹事長あいさつ... 8
長崎県看護連盟24年度活動予定表..... 3	次期第23回参議院選挙候補予定者紹介... 9
長崎県看護連盟会長挨拶..... 4	第3回ポリナビ会員育成研修会.....10
長崎県看護連盟名誉会長挨拶..... 5	ミニポリナビワークショップ.....11
高階恵美子参議院議員挨拶..... 6	平成23年度長崎県看護連盟新入会者研修会...12
安倍元総理 高階議員来崎..... 6	施設紹介(みてみて my 病院).....13
平成23年度長崎県看護連盟研修会..... 7	被災3県へエール、総会案内、編集後記...14

平成24年度

長崎県看護連盟

通常総会プログラム

平成24年 7月 7日(土)

13 : 30 ~ 16 : 30

ながさき看護センター

12 : 30	開場
13 : 20	オリエンテーション
13 : 30	開会 物故会員への黙祷 挨拶 表彰 来賓祝辞 祝電披露
14 : 35	議長団選出 経過報告 1 . 平成23年度 長崎県看護連盟通常総会報告 2 . 平成23年度 都道府県会長会報告 3 . 平成23年度 役員会報告 4 . 平成23年度 委員会報告 5 . 平成24年度 日本看護連盟通常総会代議員報告
14 : 55	審議事項 1 . 平成23年度 長崎県看護連盟活動報告 (案) 平成23年度 支部活動報告 (案) 2 . 平成23年度 収支決算報告書 (案) 3 . 平成23年度 監査報告 (案) 4 . 平成24年度 長崎県看護連盟スローガン (案) 5 . 規約改正 (案) 6 . 平成24年度 長崎県看護連盟活動計画 (案) 7 . 平成24年度 収支予算書 (案) 8 . 平成25年度 日本看護連盟通常総会 代議員選出について 9 . 役員選出 10 . 平成25年度 長崎県看護連盟通常総会 開催地について
	綱領宣言 日本看護連盟歌斉唱
16 : 30	閉会



長崎県看護連盟 会長 金澤 きみ代

会員皆様の施設では、新人看護職のまぶしさに元気をいただきながら、新しい年度を力いっぱい踏み出されていることと思います。

言うまでもなく、看護連盟は看護協会の政策実現のために活動する組織であります。協会と一緒に看護の質向上に向け、職場環境の改善に向け活動していきます。23年度は、長崎県北地区の看護教育の問題で協会と表裏一体となって活動してきました。この問題はまだ実現には至っていませんので、24年度も引き続き看護連盟の役割を果たしていきます。

さて、24年度は来年の目的達成に向け、**重点目標を 1、確かな政策実現力を持つ 2、強力な集票力を持つ 3、多くの人材提供力を持つ**、とし、**活動目標を 1) 各支部の目標数達成のための実践活動を支援する。2) リーダーの選挙知識を高め、安全な実践力を強化する。3) 看護研究研修センター整備事業の推進。4) 若手会員、特にポリナビ会員の政治参加を促進する。5) 看護職の現状を広く社会に紹介する。6) その他必要とする問題に取り組む**、といたしました。

昨年度、各支部長は、県別会議時に高階選挙時の反省点をもとに各支部会員数に合わせて、25年度の目標数を決めました。そしてその達成のために各支部での活動計画を企画しています。県連盟は県役員が各地区を担当し、スムーズな支部運営・活動を支えています。

また、一人ひとりの末端会員までの会員が自律した行動を起こすには、リーダーの存在とその役割は大きいものがあります。リーダーがキーとなります。リーダーの育成にも力を入れていきます。さらには、23年度、ポリナビ会員研修を実施し若手会員の育成に力を入れてきました。次はステップアップして自律した活動ができることを目指しています。25年度はポリナビワークショップの全国大会を若者中心に実施できるように支援していきます。



ながさき看護センターの駐車場のさくら

(24.4.6)

5) “看護職の現状を広く社会に紹介する” は他県ではない活動だと思います。名誉会長を中心に婦人会等の他団体、一般地域住民等へ看護の現状を広く社会に紹介しています。

上記のような活動を展開しながら25年度の目標を達成する為に連盟役員一丸となって活動しますので皆様のご協力をお願いいたします。



ごあいさつ

～平成24年度に向けて～



長崎県看護協会・長崎県看護連盟 名誉会長 **山口 ミユキ**

そよぶく風に、みどりの木々がやさしくゆれる昨今、平成24年度の幕開けに、多忙な毎日かと拝察しながら、国難たる東日本大震災に思いを寄せ、特に同志として懸命に、かつ、熱心に取り組みられた被災地の会長様方のお姿が脳裏から離れない。早期に、健康で「安全、安心」な暮らしができることを祈っております。

そして、看護職者として、個人、組織で何ができるか自問自答の中で、先ず与えられた健康を維持すること、その健康によって、私でできる活動即、役割は何かを考える昨今。永年にわたり、あらゆる辛酸を乗り越え、全身にたたき込んだ組織強化活動を、職業並びに社会での先輩として、誇りを持って、更に強く自立をモットーとして生き抜く所存であります。

これからの役割と活動 - 看護をとおして -

この度、永年にわたり日本会議長崎女性の会会長にとの依頼がありましたが、おことわり続けてきました。しかし、昨今の日本国の現状から、女性こそしっかりしなければと思い、「私で」看護をとおして地域社会に微力を尽くすことができればとの思いから、熟慮のあげく引き受けました。

- 日本会議長崎女性の会とは -

互いに敬い信じ合い、同志の輪を広げ、日本国民の誇りを子供たちに伝えようという言葉が合言葉として、「この国に生まれて良かった」と、子供たちに伝えられるような国づくり、人づくりに協力することであります。

女性はあらゆるものを包み込む優しさと、凜とした心の強さを兼ね備え、更に子供を宿し、産み、育てる、天から授かった神秘的な力と、子供達や男性に勇気を興させる「魔法の力」を持っています。その力を結集し、日本の歴史や伝統に根ざした家庭を作り「健康な子供を育てる」という、その中身を知り、それこそ、看護とは何か、人々の健康を維持増進させる、その指導者である。「女性の会」のねらいを果たす、その土台は、健康でなければならぬ。それこそ看護職者に課せられた役割であり、地域社会での活動をとおして、人々との交流、輪を広げ、絆を深め合い、看護職者が持つ力を発揮することによって、「ベッドサイドから政治を変える」ことができることを信じ、私でできる役割として、努力を重ねる所存であります。

さあー 平成25年度の本番に向けて、今年度の役割は、



すいせんの会の皆様と松原の虎馬園にて

●現職 - 自分と、2人の絆を深める

●OB - 地域社会との交流の輪を広げる

通常総会でお目にかかることを楽しみに、健康で、益々のご活躍と、お幸せを心から祈念して、ごあいさつと致します。

平成24年 5月 6日

- 国内の全原発停止を読む日に -
(各社の新聞記事による)

ごあいさつ



参議院議員 高 階 恵美子

長崎県看護連盟のみなさま、こんにちは。高階恵美子です。

国会では連日論戦が続いております。今国会は、社会保障と税の一体改革など、国家の根幹に係る案件を審議する重要な場であるはずですが、具体策が示されない中身の無い空論が繰り返され、成果の出せない政府に対する不安全感が高まるばかりです。

こういう時こそ地に足の着いた活動を心がけていかなければならないと、改めて気を引き締めています。看護の目と耳で、社会の様々な課題を見つけ出し、それを解決していくために皆様とともに力を合わせて真摯に取り組んで参ります。

特に将来のわが国にふさわしい社会保障の体制整備については、今この時点で熟慮を重ね、準備をしておかなければ間に合いません。私たち看護職は、専門職として、実践に根差した理論に基づくしっかりとした政策提言を行って参りましょう。社会保障の実現者である看護職の一人一人の気づきの声とアイデアが今後のわが国の安全・安心な暮らしをともし灯りとなると信じています。私は国政の場で灯りをともし役割を務めて参ります。

● 平成24年 3月31日

● 安倍 晋三 元内閣総理大臣

● 衛藤 晟一 参議院議員

● 高階恵美子 参議院議員

● 来崎



創生「日本」長崎研修会の一環として安倍元総理は衛藤参議院議員・高階参議院議員と来崎し午後 3 時30分より長崎市鉄橋にて約30分間政局についての街頭演説会を行い、多くの看護職員が参加しました。

その後、高階議員は看護協会長崎会館に移動し、当日参加した看護職員に対し東日本大震災復興特別委員会や自民党看護問題小委員会、参議院予算委員会での質問の

様子などを紹介、国会での活動内容の報告を行った。その中で昨年の11月2日の参議院本会議で自民党を代表しての質問の話では、1年生議員からの抜擢に対し東日本大震災における全国の看護職の活躍に対し、自民党内の看護職に対しての大きな評価の結果だと話された。



平成23年度 長崎県看護連盟研修会 「輝く長崎県を目指して」

県民に「安全、安心」な看護が提供できる為に



講師 長崎県知事 中村法道氏

(平成24年 3月21日 18:00~19:00 看護協会長崎会館)

平成22年 2月、こぎ出せ長崎！明日の県政は中村法道氏に託そうというスローガンのもと「新知事をつくる県民の会」を結成し県民・県議を同志として長崎県看護連盟会員は一丸となり全力投球し目的を果たしました。その中村県政に対しての現在とこれからの取り組みについて特別講演をお願いしました。

研修内容

1. 看護職員確保対策について

看護職員の離職防止と定着促進 H27年の数値目標

「新人看護職員の早期離職割合を5%に」H21年15.8%

その為のH24当初予算額 460,404千円 (前年度当初比: +3,146千円 +0.7%)

4本の柱を軸に事業展開 (キャリアステージ別、看護職員確保対策)

	看護学生	新人職員	中堅職員	滞在看護職員	管理職員
看護職員の養成・定着促進	看護修学資金貸与 養成所運営費補助 合同就職説明会 しまの看護情報誌			合同就職説明会	
資質向上対策	実習指導者講習会	新人看護職員研修事業 新人研修責任者講習会	実習指導者講習会 認定看護師資格取得助成事業 離島就業看護職員研修 専門分野看護師育成研修		新人研修責任者講習会
離職防止・再就業支援			病院内保育所運営事業補助	多様な勤務形態導入促進事業	
ナースセンター事業			訪問看護師養成研修 看護力再開発講習会 無料職業紹介事業 各種実態調査		

2. 九州新幹線西九州ルート (長崎ルート)

3. 新たな県庁舎の建設について

4. アジア、国際戦略

1時間弱の短い時間の中で盛りだくさんの県政の状況と構想の話をついた。とりわけ看護職の現状については離職防止対策の予算の増額や、県北地域看護研究研修センター (仮称) への取り組みなど質の高い看護師等の育成に意欲を示していただいた。今後の中村県政に注目していきたい。



ごあいさつ



前日本看護連盟幹事長 石田まさひろ

長崎県看護連盟の皆様、全国有数の活発な活動に感謝申し上げます。

3月12日にはホップの活動で、県内の施設を訪問させていただき、現場の声を直接お伺いしました。改めて看護職員確保の難しさを共有しました。養成の充実や潜在看護職員対策の強化を痛感します。また、平均在院日数短縮のため、急性期病院ではひどく忙しくなり、一方、いわゆる後方病院や施設では退院できない重度の患者が増えています。国の政策が現場の実態とかけ離れています。訪問看護等も頑張っていますが、高齢化の進展が早すぎ、このままでは限界を迎えかねません。

看護をしている実感を味わい、患者・利用者の幸せを感じられる現場にすることが政治の重要な使命だと思います。そのために勝利を勝ち取ります。多くの課題をもらい、やる気をいただいています。

「ベッドサイドから政治を変える！」を一人ひとりが実感できるよう、精一杯頑張ります。今後ともお世話になります。

スケジュール概要

ホップ

3月12日(月) 島原地区、県南地区集会

6月25日(月) 上五島支部集会

〔6月15日(金) 平成24年度日本看護連盟通常総会 会場：東京プリンスホテル〕
組織代表 第23回参院選候補予定者決定

7月23日(月) 下五島支部研修会

長崎県看護政策推進集会

8月11日(土) 会場：ながさき看護センター

ステップ

9月19日(水)・20日(木) 会場：県北～県央地区予定

1月29日(火)・30日(水) 会場：県南地区予定

県別会議・リーダーセミナー（日本看護連盟主催）

11月15日(木)・16日(金) 会場：ながさき看護センター・看護協会长崎会館

〔6月13日(木) 平成25年度日本看護連盟通常総会〕
ジャンプ・総決起大会

ジャンプ

7月7日(日) 会場：未定





守るべきものは守る。
変えるべきものは変える！
それが**看護**の**イシ**だ！



石田^{昌宏}まさひろ

超高齢少子社会に、
人が幸せに暮らすために看護の力が
今まで以上に求められています

新しい命を産み育てるためには、
助産師らの力が慈愛の輝きになります

地域で健康に過ごすためには、
保健師らの力が生きる喜びになります

闘病生活を無事に乗り越えるには、
看護師らの力が希望の光になります

医療がすべての効力を失った後も、
看護の力で最期の日々を見守ります

政策主張

看護が豊かに行われる
社会づくりのために
私は、次の政策に全力で取り組みます

安心・安全で幸せな暮らしを支える
安定した社会保障制度づくり

社会保障分野に活力を与える
人材の確保と育成

ケアの質の向上と社会全体への
ケアの普及

創造性や情緒を育み社会性を
身につける教育制度づくり



4つのアピールポイント



確かな実行力

看護師として、最先端の病院
づくりに関わった。日本看護協
会では、保健師助産師看護師
法改正や診療報酬改定等をリ
ード。日本看護連盟では、全国
選挙を勝利に導く。

政策通

政策づくりの基本は現場から
の発想、そしてスピード感。
「現場がどう変わったか」を実
証し、次のステップに導いてい
くこと。

未来への熱い情熱

44歳、働き盛り、思春期まっ
ただ中の2人の父親。
若手看護師から慕われる兄貴
分。
事件が起きれば、即、現場に走
る。

多彩な分野への広がり

趣味は神社めぐりと魚の飼育、
読書。年間150冊以上の読書
量。専門の看護や医療分野に
限らず、経済、文化、教育、国際
問題にも関心を持ち、独自の
発想を広げてきた。

石田^{昌宏}まさひろの主な経歴

1967(昭和42)年、奈良県大和郡山市生まれ

東京大学医学部保健学科卒業

看護師として聖路加国際病院、東京武蔵野病院で勤務

衆議院公設秘書を経験

日本看護協会では政策企画室長などを務める

日本看護連盟では幹事長などを務める

熱！伝！導

第3回ポリナビ会員育成研修会

平成24年 2月25日(土) 14:00~16:00

場所：長崎県看護協会 長崎会館 5F 研修室

参加者総数
36名

ねらい 「具体的な行動ができる」

ポリナビ参加で感じたことや学んだこと

ポリナビってなに？から始まり、3回の研修でみなさんそれぞれ感じ、学びを得て、自分達がやらなければいけない!!と感想を書かれていました。

一番多かったのが、せっかくのポリナビの活動を周囲の人が知らない人が多いので、学んだことを多くの人に伝えようという意見でした。

次に多かったのが、グループワークで違う病院の状況を知ることができ、勉強になった。という意見でした。

・その中で、「明るく」「楽しく」サークルに全員で参加する、みたいな若い感覚の意見もありました。

・あと、山口名誉会長の言葉で「ここまできた看護をこれからどうする？」のなげかけに、目が覚める思いでした。と感想をのべている方もいました。

・研修後独自のポリナビ通信を発行し、活動・報告をしている施設もありました。

・参加者の周囲への声掛けで4/21(土)ミニポリナビワークショップ

参加者100名を目標に頑張りましょう!!



ポリナビ会員の気付き&反省



2名の担当会員、仕事の都合により参加できませんでした。

素朴な ぎ・も・ん?

看護協会会員は人数が多いから協会と連盟と一緒に運動したらたくさんにならないの?

看護協会は、*社団法人だから政治活動が出来ないんだよ!

自分たちが働きやすい環境にするには、選挙活動ができる看護連盟が必要なんだね!!

なかなか働きやすくないけど...

職場環境を良くするためには、法律を変えないとね!

だったら、私たちの代表にがんばってもらわないと!選挙にいかなくちゃ

*注釈：社団法人とは 一定の目的で構成員（社員）が結合した団体のうち、法律により法人格が認められ権利義務の主体となるもの（法人）をいう。社員（構成員）により、構成される団体で、法律上、法人格が付与されたものを社団法人と言う。

ミニポリナビワークショップ

日時 / 平成24年 4月21日(土) 14:00~16:00

場所 / ながさき看護センター 4階(諫早)

対象 / 連盟会員20~30歳代(自称若者)

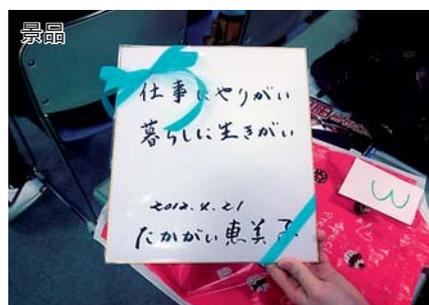
参加申込者 / 165名 参加者 **153名**



ねらい 「いい看護をするために、今若者にできる活動...
それは絆を深め仲間を増やすこと」

プログラム

14:00	開会 挨拶	長崎県看護連盟 会長 金澤 きみ代 実行委員 小川 正臣
14:10	研修	演題 「医療や看護関係の法律ができるまで」 - そうだったのか 学べるニュース - 講師 聖フランシスコ病院 看護師 植松 末広・江口 貴士・木本 理絵・道端 幸
14:50		×ゲームをとおして学ぶ看護と政治... ポリって二択!! GET たかがい “めざせ会長賞” 9問出題され、15名に景品がありました。 !!おめでとうございます!! (気になる景品は、たかがい先生の色紙やUSB メモリーや加湿器などありました。)
16:00	懇親会 開会挨拶 交流会 絆コール	懇親会参加者 60名 実行委員 小川 正臣
16:30	終了	



ポリナビとは、看護連盟会員20~30歳代を中心として、2007年に日本看護連盟が立ち上げた、Politc Nabigators' Network の略です。ポリナビでは「政治」や「政策」の学びを通して、自分たちにできることを考え、実行することで、日本の看護・医療がよりよいものになることを目指しています。

今回参加者人数**100名**を達成することができました。皆さんの理解あつての数だったと確信できます。

これから若い力を、次のスッテップUPとして次回の**平成25年開催される「ポリナビワークショップ in 長崎」**へつながるように、「絆」をつなげて大きな輪になるように活動していきましょう。

(ポリナビ会員)

小川 正臣
藤澤 悟
市田 雅俊
吉田 明子
金崎 大輔

(運営委員)

藤下 大輔
吉川 拓也
津上 弘一
丸山いずみ
宮崎 友子
下曾山織恵
飯田 明文
濱部 妙子



運営委員のメンバー

平成23年度 長崎県看護連盟新入会者研修会

第1回 平成24年 1月16日(月)14:00~16:30
第2回 平成24年 2月14日(火)14:00~16:30

テーマ 「新人看護職者が看護を変える」

ねらい 新人看護職者が、これまでの看護を受け継ぎ、守り発展させるため、そしてさらに働きやすい職場環境を整えるために、自律した行動がとれる。

参加者数 第1回 122名 第2回 134名

プログラム

開会

あいさつ 長崎県看護連盟 会長 金澤きみ代

基調講演および研修

- (1) 看護連盟と看護協会のちがい
長崎県看護連盟 会長 金澤きみ代
- (2) 国会代表質問 DVD
参議院議員 高階恵美子先生
- (3) 「ポリナビワークショップ in くまもと」参加報告

グループワーク「私に出来ること」

発表

まとめ

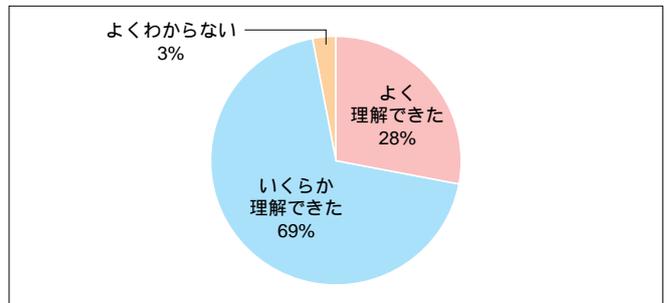
閉会

(発表)

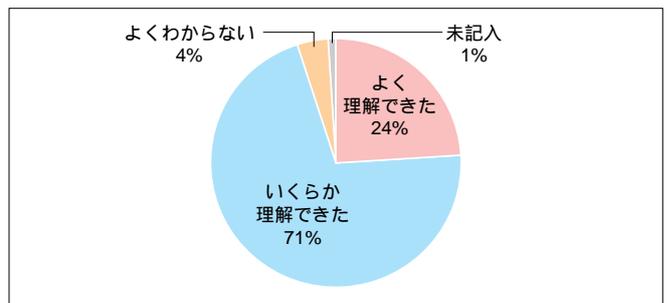
- ・看護協会や看護連盟に属し、積極的に研修などに参加する。
- ・現場の状況を伝えたり、政治・選挙活動に目を向け、参加していく。そのことが私たちの職場環境の改善につながる。

アンケート集計結果

・看護協会と看護連盟の役割について理解できましたか。



・看護連盟会員としての役割は理解できましたか。



理解できた点

政治活動を行い、医療の現状について知ってもらう。

・政治に関して興味がありますか。

- ①長崎県看護連盟だよりをよく読んでいる。(20.5%)
- ②政治に関心があり、新聞・ニュース等で情報収集をしている(14.3%)
- ③これまでに国政・県政・市政など公的な選挙時投票をしたことがある。(35.7%)
- ④会員に送られてくるN アンフィニをよく読んでいる。(20.5%)
- ⑤政治には関心がない。(40.2%)

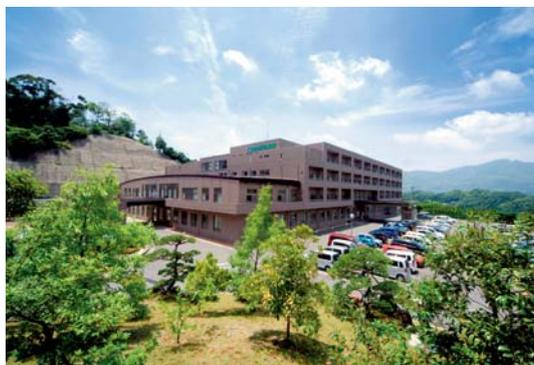




みてみてmy病院

第2回 耀光リハビリテーション病院

ホームページ <http://www.hakujuujikai.or.jp/yohkoh/>



今回は耀光リハビリテーション病院について、紹介させていただきます。私達は、社会医療法人財団白十字会グループに属しております。他には、佐世保中央病院、老健施設「燦」「長寿苑」、介護予防デイサービスセンター3施設、地域密着型小規模デイサービス(認知症型)9施設があり、認知症ケアとリハビリを主体に地域医療に取り組んでおります。



耀光リハビリテーション病院は、回復期と慢性期医療を担っており、回復期リハビリテーション病棟を3病棟、医療保険療養型病棟を1病棟、介護保険療養病棟を2病棟、許可病床数330床の病院です。全館リハビリスタッフが配置されており、回復期リハビリ病棟以外の病棟でも、生活リハビリの考え方でケアを実施しております。褥瘡新規発生率は0を目指しております。また、リハビリ部(PT38名、OT37名、ST14名、物理療法士2名、計91名)は、佐世保地域リハビリテーション広域支援センターの役割も担っておりますので、リハビリテーションに関して分からないことがありましたら、いつでもお気軽に当院へご相談ください。

また、私達は、医療機能評価認定病院として2003年と2008年4月に認定を受け、質的充実を図ってきました。

平成24年度の病院目標は患者さんを中心に置いた多職種・多施設連携であり、摂食嚥下リハビリ委員会・NST委員会の充実と在宅支援への充実を目指し、活動を開始しております。そしてスタッフのモチベーションアップを図るために、資格取得支援(奨励)制度や法人内認定看護師制度などがあり、多くのスタッフが自分の目標を決めて資格を取ろうとチャレンジしています。急性期で看護をされている皆様、慢性期の看護に興味ありませんか?ある方はぜひ、当看護部へいらしてください。障害を持ちながら元気に退院していただける患者様の姿に私たちも元気を頂いています。やりがいのある病院だと思いますよ!見学だけでもOKです。



最後に、「耀光」とは光り輝くという意味があり、患者様に再び光り輝いて欲しいとの願いを込めています。字を良く間違えられるのですが、耀の部首は火です。今後とも耀光リハビリテーション病院をよろしく願いいたします。



文責 看護部長 福島美津子

今後このコーナーをシリーズ化します!!

my病院・施設を紹介してみませんか?!

「これが自慢!うちならでは!がんばってます!!」なんでもOKですよ。

応募方法は [こちら](mailto:hyk.renmei-nagasaki@shore.ocn.ne.jp) または Fax (0957) 49 - 8066

たくさんの応募
お待ちしております。



被災(福島、岩手、宮城)3県へエール

3.11の東日本大震災から1年、被災した3県の看護連盟に対し有志による寄せ書きと食品を送りました。



平成24年度

長崎県看護連盟通常総会のおしらせ



日時 平成24年 7月 7日(土)

13:30 ~ 16:30

場所 ながさき看護センター

是非出席しましょう

編集後記

次期参議院選挙(全国比例)に組織代表の候補予定者として石田昌宏氏が内定しました。今号は同氏の紹介と連盟活動を若い会員に浸透させる取り組みの「ポリナビ」を特集しました。

今後も連盟だよりを通して政治に興味を持っていただきたいと思います。

編集担当(伊達木、馬場、村井、森田、松崎、上戸)



しまばら芝桜公園